

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

北国の安心住宅

グループの名称

未来へつなげる安心住宅 WAZA

直近採択グループ番号

06-0641-0026

(グループ代表者)

代表者名	中野渡 修	代表者印
代表者所属先	株式会社 東洋ハウス工業	
代表者所在地	青森県十和田市東二十一番町119-18	
代表者電話番号	0176-25-1511	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社ブルケン東日本	
事務局担当者名	丸屋 宗一郎	印
事務局郵便番号	039-1519	
事務局所在地	青森県三戸郡五戸町天満後39-6	
事務局電話番号	0178-62-2004	
事務局FAX	0178-62-2702	
事務局担当者E-mail	souitiro0518@yahoo.co.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	北国の安心住宅
2. グループの名称(必須)	未来へつなげる安心住宅 WAZA
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0641-0026
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	青森県 岩手県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	中野渡 修
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 東洋ハウス工業
8. グループ代表者所在地(必須)	青森県十和田市東二十一番町119-18
9. グループ代表者電話番号(必須)	0176-25-1511
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社ブルケン東日本
11. グループ事務局担当者名(必須)	丸屋 宗一郎
12. グループ事務局郵便番号(必須)	039-1519
13. グループ事務局所在地(必須)	青森県三戸郡五戸町天満後39-6
14. グループ事務局電話番号(必須)	0178-62-2004
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0178-62-2702
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	soutiro0518@yahoo.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	9	
II. 製材・集成材製造・合板製造	12	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	2	
V. 設計	1	
VI. 施工	10	/
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
	青森県産材	青森県	青森県産材認証制度	1	国内	
	岩手県産材	岩手県	岩手県産材証明制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	6棟					
				780㎡					
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	2棟					
				260㎡					
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	















県 番号	構成員 番号	事業者 番号	事業者名	平成29年(1月~12月)の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計 数(H27~H29)			被災地 に該当	ZEHビ ルダ ーに 該当	BELS.I 務店 に 該当
				元請の 新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅 の実績		うち認定低炭素住宅・性能向 上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅 の実績		優良建築物の 着工床面積の実績		長期優 良住宅	高度省 エネ型 住宅	ゼロエ ネ住宅			
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
2	VI - 23	70570	有限会社 豊川建築工房	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下	○	○	○
2	VI - 25	90014	階上建築	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
2	VI - 26	70328	夏堀建築	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
2	VI - 27	70374	株式会社 東洋ハウス工業	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
2	VI - 28	70561	有限会社 田清建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
2	VI - 31		株式会社 山耕	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
2	VI - 32		佐大建築	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
2	VI - 33		松坂工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
2	VI - 34		株式会社 立花建設	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
2	VI - 35	70369	株式会社 大山建工	40 戸	40 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
VI - 36												㎡	㎡						
VI - 37												㎡	㎡						
VI - 38												㎡	㎡						
VI - 39												㎡	㎡						
VI - 40												㎡	㎡						
VI - 41												㎡	㎡						
VI - 42												㎡	㎡						
VI - 43												㎡	㎡						
VI - 44												㎡	㎡						
VI - 45												㎡	㎡						
VI - 46												㎡	㎡						
VI - 47												㎡	㎡						
VI - 48												㎡	㎡						
VI - 49												㎡	㎡						
VI - 50												㎡	㎡						





1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北国の安心住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県 岩手県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 未来へつなげる安心住宅 WAZA	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0641-0026	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	国産材での構造材を重点に考えています。杉材に対する関心が高まっており また乾燥材は常識になっております。近年は地場のハウス会社、工務店に使われるようになってきました。また納材の80%はプレカットです。青森県南から岩手県北は東風(やませ)の影響で、冬は寒い地域ですので、断熱の性能をより高める施工、材質を重視するのは最優先の課題です。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	太平洋からの強風対策として、屋根の向き、形状、それに軒の強度の工夫が大切になります。特に屋根の材質としては、メンテナンスの少ないものを重点的に使うよう努力します(コロニアル等)。地震に強い間取り、さらに冬の日差しを考えた部屋の配置を研究します。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	内装の壁、天井には県産材の杉、赤松、唐松の羽目板の使用をめざします。床板も無垢のフローリングを検討中ですが、隙間をどうクリアするかが研究課題です。	○
④①～③の背景	構造材に国産材メインに、また内壁にも国産材の無垢材を多く取り入れるなど、地場林業に活性化につながれば、県産材の振興になると思います。何よりも古くなくても古さを感じさせないのが木材の特徴です。また屋根材についてですが、この地区は海風による塩害が多い地区があり、6～7年くらいで塗装のメンテナンスに追われる状況があります。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	繰り返しになりますが、古くても温かみを感じ自然と調和のとれた安らぎと安心が得られる住宅を目指します。大手ハウス会社の内装はクロスがほとんどですが無垢材をメインに大手との差別化を図りたいと思います。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 土台 柱 桁 母屋=105ミリか120ミリ 梁=150ミリ～300ミリ 330ミリ以上は赤松の集成材を活用する。構造の強度を求める部分には集成材を使用 外装材は窯業系の場合最低16ミリ厚の使用を目標とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工事業者様の従来の使用メーカー、仕入れ先等の違いから扱い商品がまちまちのため統一することは現状ではまだできておりませんが商品管理の面からも統一化の努力をしていきます。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 強度耐久性のある商品を標準仕様とするように会員の方に説明をしています。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 当社は大きな倉庫があるためこの有効活用を考えています。グループの会員の中には資材倉庫の無い方が多く、グループとしてまとめ買いの商品の倉庫としても活用していきます。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 商品の在庫管理を事務局でおこない、その情報を会員の方々に提供していきます。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工グループの会員の中から数名のメンバーを選任して事務局と話し合い改善検討をします。3ヶ月に1回位を目安に考えています。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各種勉強会、講習会、商品情報、他社成功事例等をメールで案内	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 着工から完成までの工程等をデータ化し、参考になる現場を基準に施工マニュアルを作成	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通の施工基準を作成し、事務局と共同で現場チェックをめざす。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ジャパン建材で主催する "快適充実の家"のなかに見積もり積算のサービスがあり この利用を検討します。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工務店様向けの技術講習会を企画し技術力の向上を図る	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 週休2日制を導入しています。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 個人の能力を査定し処遇の改善を心がけています。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 加入しています。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 健康診断を実施しています。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	いろいろな問題点は施工グループの方々と定期的に会合のなかから見つけた新たな解決策を模索していきます。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北国の安心住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県 岩手県		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 未来へつなげる安心住宅 WAZA	(結成年) 2015 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0641-0026			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅蓄積履歴情報の			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ジャパン建材窓口の"快適充実の家"の中にあるソフトの採用を検討します。	○	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記明細と同じ	○	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記明細と同じ	○	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 物件情報を共有し 定期連絡 定期訪問を実施し適切な対応をおこなう	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記明細と同じ	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記明細と同じ	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年2回を目標とします	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場完成後の施主様との関わり方の共通のマニュアルを作成し活用する	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年2回を目標とします	○
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局に設置します	○		
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 統一の規格を作成し委員会が管理指導します	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 業務の引継ぎできるような体制づくりを検討する	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ジャパン建材のサポート体制を利用し瑕疵の発生しないための勉強会の実施	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 豊富な施工経験のある工務店 設計時事務所等を中心に勉強会を開催。	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年に2回程度参考になる現場での研修会を企画し共通のマニュアルの作成をめざします。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅施工ごとに事務局にて確認します。	○	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年間スケジュールに組み込んで継続することをめざします。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 材料の規格を統一することにより。ロスの無い合理的な在庫をする。	○	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 21 今年度の参加目標人数 4	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 3 今年度の参加目標人数 7	○	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会の企画情報を案内します	○	
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ゼロエネルギー住宅にむけた取り組み	○	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)		(地域型住宅の名称) <b>北国の安心住宅</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>青森県 岩手県</b>
2. グループの名称・結成年月(必須)		(グループの名称) <b>未来へつなげる安心住宅 WAZA</b>	(結成年) <b>2015 年</b>
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)		<b>06-0641-0026</b>	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成30年度対応方針】			
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	予算のある場合 ヒバ=土台 柱 造作 =柱 桁 母屋 小割(タルキ 間柱 胴縁等) 梁 割 合法木材乾燥材をできるだけ活用する。また米国产米松に関しては認証制度FEFCのものを使用する。	◎ 杉 唐松= 赤松=梁 小 いづれも
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	○
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	杉の原木→協定の製材工場→工場から製品生産→当社施工グループ倉庫に保管→協定プレカット工場→現場	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎月棚卸しを実施し地域材の在庫を把握した不足があれば手配する。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メール等で現時点の伝達が可能	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: メール等での現時点の伝達が可能	○
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 畳の良さを伝え積極的使用を心掛けます。	○
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 和風外観住宅には積極的使用を心掛けます。	○
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 和室には積極的使用を心掛けます。	○
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 和室には積極的使用を心掛けます。	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 床 壁 天井等の一部のスペースを和室のイメージでのインテリアの空間を作成	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 無垢材羽目板など活用する。	○
	③ 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 古民家の研究。安らぎを感じ癒されるとの意見が多く 新築の現場で活用できないか研究していきたいです。	○
d	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 内装材に全室が無理なら1部屋でも無垢材を使って木の良さを伝えていきたいと思ひます。特に若い世代に実行したいことです	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 研究課題となります。	○
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 重複になりますが全部屋の内装オールムクざいがベストと考えます。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループでの勉強会を行い 技術の向上にとりこんでいきたい。	
カ. その他			
【平成30年度対応方針】			
東日本大震災の復興に資する取組	青森県南は建物の崩壊したような大きな損害はなく一部の沿岸地区で津波によるひがいはありました。ほとんどが復旧を終えています。被害の大きかった岩手県南地方に職人さんが出ている状況でしたがほとんどこれも終了している状態です。		○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組		義援金などの取組みにはできるだけ協力する。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 北国の安心住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 青森県 岩手県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 未来へつなげる安心住宅 WAZA	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0641-0026	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴</p> <p>※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。</p> <p>※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p> <p>認定低炭素住宅 性能向上計画認定住宅は 一次エネルギー消費量及び断熱性能等級は基準値以上の性能を目指し所管行政庁による認定を受けた住宅とする。ゼロエネルギー住宅は基準値クリアする 3地域UA値0.5R R100% R020%でBELSにおける性能評価表示を基準とする。優良建築物は認定を取得しBELSによる評価表示を受けたものとする。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。